

# 第157回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

平成30年7月

日時: 2018年7月27日(金) 18:00-19:30

場所: 神奈川大学 24号館 310号室

◆ 主催: 防災塾・だるま

司会: 山田美智子 記録: 紅林敏行

◆ 談義の会参加者: 会員18名 一般3名(含む講師、学生1名) 計21名 (敬称略)



左から中島さん(講師)、笹生さん

左(講演会場の模様)

中(笹生塾長(挨拶))

右(山田さん(司会))

## 話題: 『大規模災害発生時!』～被災地における防犯対策～

講師: 中島 敦志氏 神奈川県警察本部生活安全部生活安全総務課 犯罪抑止対策室長

阪神淡路大震災、東日本大震災での災害発生時の体験に基づいて自分自身が感じたこと、思ったことを解り易く講演(私見が多いので紙にすることは止めたとのこと(本稿でも配慮)) (参考)中島さんの経歴: 広域緊急援助隊等の任期が長く、阪神淡路大震災では災害救助、治安維持等の任につき、東日本大震災では警視庁(出向)にて被災地からの情報の取り纏め部署に所属。

### 《理解した事》

- ・やはり【**1対1対策**】は大事!  
コンビニ等の棚に飲食物が並ぶのは早い。
- ・防犯の基本は、  
【**危険な所に近づかない、危険な行為はしない**】。
- ・【**空き巣**】等の犯罪は無くならない。
- ・避難所運営の基本は、【**信頼**】。  
お互いに【**安心を与える行動**】に努める。  
区画するだけで人は安心感を持つ。
- ・【**正しい情報を正しく伝える仕組み**】が重要。

### 《警視庁 HP 警察白書等から》

- ◆1995年【**阪神淡路大震災**】交通網が多大な被害!  
兵庫県内には全国から機動隊員等約5,500人のほか、  
バイク-及びパトカー、移動交番車等約200台  
並びに白バイ、捜査用車両等約80台が投入。  
被災者の救出救助活動/行方不明者の捜索。  
救援部隊/救援物資等の輸送。 検死・身元確認活動。  
交通対策(緊急輸送路確保等)。 交通整理。  
全避難所等のパトロール。 各避難所での相談。  
震災に便乗した各種犯罪の抑止と取締り等に対処。
- ◆1995年【**広域緊急援助隊**】設置  
大規模災害時に、都道府県の枠を越えて広域的に  
即応でき、かつ、高度の救出救助能力等を有する  
災害対策専門部隊として、全国の機動隊員、交通  
機動隊員等から成る**広域緊急援助隊**を設置。
- ◆2011年【**東日本大震災**】  
《警視庁HP2018/03【**東日本大震災に伴う警察措置**】から》  
津波災害からの避難誘導中に津波に飲み込まれる  
などして25人の警察官が死亡、5人が行方不明。  
避難指示が出た**福島原発**周辺の入院患者等545人を  
病院や介護施設から**避難指示圏外**に移送。  
原子炉建屋への高圧放水車による放水活動の実施。

《右上に続く》

### 《警視庁 HP 犯罪統計細則、犯罪情勢等から》

- 【**認知件数**】警察において発生を認知した事件の数
- 【**認知**】被害の届出若しくは告訴・告発を受理し、  
・・その発生を確認することを言う。
- 【**2017年刑法犯認知件数**】2012年以降減少傾向。  
全国総数915,042件、神奈川県は53,628件。
- 【**2017年人口10万人当たり刑法犯認知件数**】  
神奈川県**585.5件**(上位から大阪1,213件、  
兵庫923.5件、東京912.6件)。岩手県273.7件、  
宮城県642.7件、福島県591.2件。

### 《左下から続く》

- 全国の【**広域緊急援助隊**】を始め、機動隊、管区機動隊、  
地域警察特別派遣部隊、特別機動捜査派遣部隊等を派遣。  
生存者の救出・救助活動(約3,750人救出)。避難誘導、  
行方不明者(現在2,557人)の捜索、遺体の検視(現在  
15,824体)・身元確認等、【**緊急交通路**】の確保、  
避難所・仮設住宅等での被災者支援、被災地における  
パトロール、震災に便乗した各種犯罪の取締り等に対処。  
被災3県での1日当たりの最大時警察体制  
約12,800人体制(約4,800人、車約1,000台派遣  
(現在、派遣日数1,828日間、延べ人員約1,328,700人))
- ◆東日本大震災・被災地の【**刑法犯認知件数**】  
被災時、**空き巣**等の**侵入窃盗**が増加するなどの  
特異な状況が見られたが、時間の経過とともに概ね  
落ち着き、**被災3県共に刑法犯認知件数は減少**。  
福島原発周辺の警戒区域では、**空き巣、出店荒し**等が増加。  
コンビニ設置の**ATM被害**(46件、約6億6900万円)も  
発生。関係事業者に要請して金融機関等からの現金回収  
を行った。  
被災3県被災地の警察署に拾得の届け出があった  
約6,000個の金庫の内部に在在中していた27億  
7000万円の現金のうち、99.8%を所有者に返還。  
一時、**流言飛語**も流布し、被災者の不安をあり立てた。

## ●次回(第158回)案内

- ・日時:2018年8月23日(木)13時~15時30分
- ・会場:桜木町ぴお街16階第一研修室
- ・話題:『関東大震災と横浜港』(講演後、横浜みなと博物館・帆船日本丸を見学)
- ・講師:三木 綾氏 横浜みなと博物館 学芸員